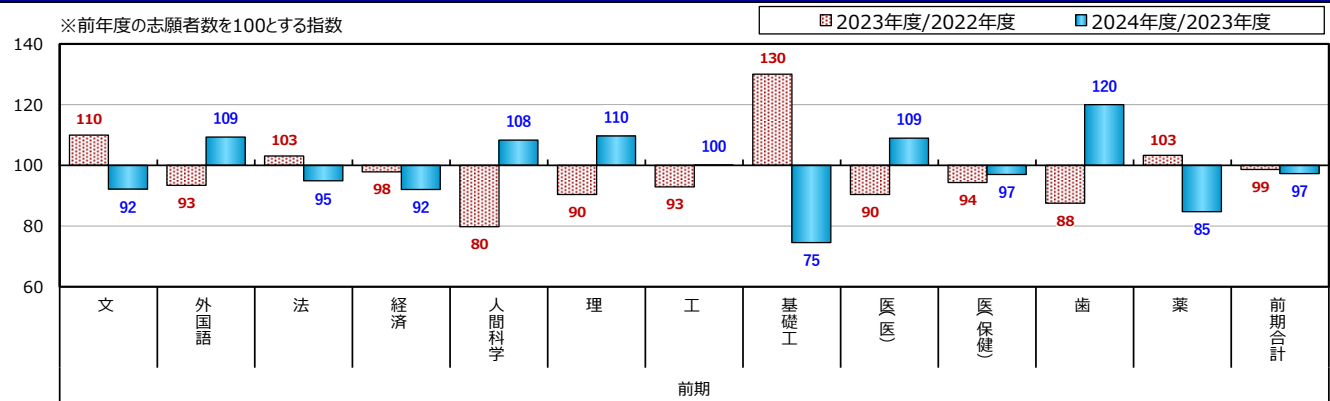


大阪大：前期のみの募集だが、大学全体ではやや減少

前期：-202 人



**主な入試変更点** 募集人員：外国語(外国語／中国語)＜前＞… 36 人→33 人、(外国語／インドネシア語)＜前＞…10 人→16 人 (外国語／フィリピン語)＜前＞…10 人→16 人、(外国語／タイ語)＜前＞…13 人→16 人 (外国語／ベトナム語)＜前＞…13 人→16 人、(外国語／アラビア語)＜前＞…22 人→21 人 (外国語／ロシア語)＜前＞…22 人→21 人、(外国語／ハンガリー語)＜前＞…13 人→16 人 (外国語／ドイツ語)＜前＞…30 人→27 人、(外国語／フランス語)＜前＞…22 人→21 人 (外国語／スペイン語)＜前＞…31 人→27 人、(外国語／ポルトガル語)＜前＞…26 人→21 人 (外国語／日本語)＜前＞…27 人→24 人 医(保健／看護学)＜前＞…72 人→70 人、(保健／放射線技術科学)＜前＞…36 人→34 人

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期のみの募集で、202 人(97)のやや減少で 2 年連続減少。文理別では、文系は 18 人(101)の微増で前年度並、理系は 220 人(95)のやや減少で 3 年ぶりの減少。学部別(医は学科別)で増減が目立ったのは、歯(120)が大幅増加、理(110)、外国語(109)、医(医)(109)、人間科学(108)が増加。一方で、基礎工(75)、薬(85)が大幅減少。経済(92)が減少。また、経済、医(保健)は 2 年連続減少だが、他はいずれも前年度と逆の増減。

**<前期日程>**

- 文(92)**は、前年度増加の反動で減少。
- 外国語(109)**は、前年度やや減少の反動に加えて、コロナ禍の収束傾向に伴い系統への人気回復もあって増加し、志願者数は 2 年ぶりに 1,200 人を上回った。専攻別では、25 専攻中 14 専攻が増加。13 専攻で募集人員の変更があったので、志願倍率の変化を見ると、志願者数と同じく 14 専攻で志願倍率がアップ。最も高倍率は(外国語／モンゴル語)の 4.9 倍、最も低倍率は(外国語／タイ語)の 1.6 倍。
- 法(95)**は、3 年連続増加の反動は小さくやや減少。学科別では、(法)(84)は 3 年連続増加の反動で大幅減少。一方で、(国際公共政策)(133)は前年度大幅減少の反動で大幅増加と 2 学科で対照的。
- 経済(92)**は、2 年連続減少、志願者数は 3 年ぶりに 600 人を下回った。
- 人間科学(108)**は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 理(110)**は、前年度減少の反動で増加。志願者数は 2 年ぶりに 600 人を上回った。学科・コース別では、5 学科・コース中 4 学科・コースが増加。(物理)(126)は前年度減少の反動で大幅増加。(生物科学／生命理学)(108)は前年度大幅増加に引き続き増加。化(107)、数(107)はいずれも前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(生物科学／生物科学)(92)は 3 年連続増加の反動で減少。
- 工(100)**は、前年度やや減少の反動はなく前年度並。学科別では、5 学科中 3 学科が減少。(応用理工)(95)、(地球総合工)(95)、(環境・エネルギー工)(95)はいずれもやや減少。一方で、(電子情報工)(109)は増加、2020 年度以降前年度の反動による増減が継続。(応用自然科学)(102)は前年度やや減少の反動はなく前年度並。
- 基礎工(75)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、2022 年度は 4 学科全てが減少、2023 年度は 4 学科全てが大幅増加と極端な動向だった。今年度もこれが継続して、(化学応用科学)(54)、(電子物理科学)(70)、(情報科学)(80)、(システム科学)(85)の 4 学科全てが大幅減少。
- 医(医)(109)**は、増加。2018 年度以降は反動による増減が継続。
- 医(保健)(97)**は、2 年連続やや減少。専攻別では、3 専攻中 2 専攻が減少。(保健／検査技術科学)(92)は 2 年連続増加の反動で減少。(保健／放射線技術科学)(93)は 2 年連続やや減少。一方で、(保健／看護学)(105)は前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加。
- 歯(120)**は、2 年連続減少の反動で大幅増加。
- 薬(85)**は、6 年制のみの募集。系統への人気の低下と 2 年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率も 3 年ぶりに 2.5 倍を下回った。